

## 畜産ニュース

### ◎全日本ホルスタイン共進会 松本市で開催予定

社団法人日本ホルスタイン登録協会主催で、第3回全日本ホルスタイン共進会が来年3月23日から27日までの5日間、長野県松本市で開催される。

この共進会には、全国から選抜された優秀牛220頭が出品され覇を競う予定で、出品区分はホルスタイン種及び同種系牛について牝末経産12～18ヵ月未満、18～30ヵ月未満、経産、など9部に分けて行なわれる。

岡山県からはこれに6頭出品されることになっており、県および、ホルスタイン登録協会岡山県支部では現在までに既に再度にわたり出品牛の選抜検査を行なってきたがさらに来る11月30日、12月1日にも美作地域、旭東地域で候補牛の検査を行なうことにしている。

### ◎高梁で乳牛セリ市開催

最近の酪農熱から、備中集約酪農地域内で生産される乳牛仔牛も年々増加しているが、これらの農家で生産された仔牛が適正な価格で円滑に取引されることをねらって、かねてから関係者の間でセリ売りが研究されていたが、去る11月20日、高梁市の高梁家畜市場で高梁畜連主催で乳牛のセリ市場が開催された。同日は、県下で初めての試みにもかかわらず鴨方、井原、和気、牛窓、落合方面から家畜商、農協のほか地元畜連農協など約30名の購買客が集まり、出場78頭のうち41頭が売買される盛況であった。

売買価格は1頭平均56,003円(内純粋種66,450円、雑種54,470円)で、総取引価格(本人取りを含む)は4,368,000円であった。

同畜連や高梁農林事務所では、今回のセリ市の成功からさらに今後も引続いてこれを開催することになっている。

### ◎臨時種畜検査の実施

家畜の改良増殖を図るために、毎年春に行なわれている定期種畜検査のほかに、これから新しく供用しようとする種雄畜について、県では次の日程で地

方臨時種畜検査を行なった。なお検査は農林事務所及び県畜産課の種畜検査員によって実施された。

受検頭数は、和牛、乳牛、めん山羊など、40頭であった。

検査期日	実施場所
11月11日、14日	岡山県酪農試験場
〃 〃	〃
〃	加茂家畜保健衛生所
12日、15日	久米郡久米町亀甲家畜市場
〃 〃	真庭郡久世町久世家畜市場
13日、16日	阿哲郡大佐町刑部家畜市場
〃 〃	〃
〃	哲世町旧野馳家畜市場
14日、17日	新見市草間草間家畜市場
〃 〃	〃
〃	新見家畜市場
15日、18日	岡山県和牛試験場
〃 〃	総社市惣社家畜市場

### 作家の井伏鱒二氏 牛の取材に新見市を訪問

去る11月18日午前、「集金旅行」や「本日休診」で有名な作家の井伏鱒二氏が来岡、県庁訪問の後取材に新見市千屋を訪れた。

これは、雑誌「小説新潮」の同氏執筆の「私のノート」欄に、来年の牛どしにちなんで和牛を取り上げるため、現地では、林新見市長や林県和牛試験場長の案内を受け、千屋牛の歴史や、千屋牛馬市発展に功績のあった同地の豪族、故太田辰五郎氏の逸話に耳をかたむけ、折から開かれている恒例の千屋大市の模様、農村での和牛飼育の状況などを視察取材した。同氏は18日は千屋に1泊の後、高松町を訪れ19日帰京した。

### ◎米国飼料穀物視察団来岡

日本の畜産および飼料事情を視察のため、去る11月12日から日本に滞在中の米国飼料穀物視察団一行5名は、約1ヵ月の予定で各地を視察中であるが、11月30日午前、筑紫号で岡山に到着、午後、岡山市福田の福田種鶏場と県養鶏試験場を訪れ視察の後、

## 岡山畜産便り 1960.11・12

岡山市に1泊大阪方面へ向かった。

### ◎第11回岡山県肉牛共進会 岡山市で開催

今年の掉尾をかざる肉牛共進会が、来る12月20日、21日の両日、岡山市巖井の岡山家畜試験場で

次のとおり開催される。

今年の出品予定は60頭で、春以来の肉畜の好況から盛況が予想される。

主催 岡山県  
 後援 岡山市、岡山県畜連、岡山県畜産会  
 協賛 岡山県畜産事業協同組合  
 農林別出品頭数

日程

第1日(20日)

- 8、00 出品牛搬入
- 8、00～10、00 秤量、測尺
- 10、00 開会式
- 10、30～17、00 個体並びに比較審査

第2日(21日)

- 9、30～11、00 入賞牛展示並びに解説
- 11、00～12、00 褒賞授与式
- 13、00 出品牛せり

計	ヌ	メ	別	農
	キ	ス		林
一五	八七		岡山	
九四	五		和気	
一五	九六		倉敷	
四二	二		笠岡	
二二			高梁	
一一			勝山	
八八			津山	
六六			美作	
六〇	四二		計	